

広がる未来へ

35

*またはらエコ・ガーデンシティ構想

●ライトダウンキャンペーン

2月の省エネ月間に合わせて、ライトダウンキャンペーンを行いました。これは事業所などのエネルギーの使用量を減らし、地球温暖化防止の活動を広げるための取り組みです。市内の多くの事業所にご参加をいただき、大きな成果がありましたのでご紹介します。

【実施結果】

- 期間 15日間(2月1日～15日)
 - 参加事業所 73事業所
 - 削減電力量 1時間あたり約4万3000kw
 - CO2削減量 約2万9000kg
- ※原油にすると約1万1000リットルの削減(ドラム缶55本相当)

【主な実施内容】

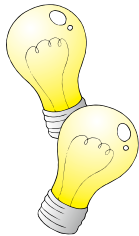
- 休憩時間・事業時間前後の消灯
- 社員による家庭での実施呼びかけ

消灯のほか、照明器具の清掃やノーカーデーの実施、冷蔵庫の省エネなどにも取り組んでいただきました。ご協力ありがとうございました。

家庭でできる省エネでお勧めしたいのが、白熱電球から電球型蛍光灯への切り替えです。

最近では、白熱電球と同じ明るさで、消費電力が約4分の1、電球の寿命が約4倍になる電球型蛍光灯が販売されています。価格は、白熱電球よりも少し高めになります。特に長時間点灯する部屋で使うと電気代が安くなり、電球の交換回数も減らすことができます。

電球を交換する際には、ぜひご検討ください。



今月のエコライフ標語
緑ある 未来のために
エコライフ

● またはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人178人・事業所3か所(2月末現在)

▼エコエネ推進室

☎23局7401 FAX23局0180



省資源とリサイクルにけいじばん

11

もやせるごみは、再利用されているのをご存じですか？今回は、もやせるごみを出すときに気をつけてほしいことなど、もやせるごみについてお知らせします。

もやせるごみから炭ができます

炭生館では、もやせるごみを、蒸し焼きにして炭を作っています。できた炭は、燃料や保温材料として使われています。

炭生館は、自由に見学することができますので、お気軽にお越しください。

炭生館 <http://www.gsf-tanseikan.co.jp>

生ゴミを減量しよう

生ごみは、コンポストなどの処理容器や電気式の処理機を利用して、自家処理することができます。処理容器などの購入に対して、補助制度がありますので、ご利用ください。

※詳しくは、清掃管理課へお問い合わせください。

もやせるごみの出し方は？

● 台所のごみは、水をよく切る燃やすときに使用する燃料が少なくなります。

● 長いひも状のものは、30cm以内に切る

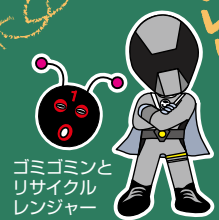
● 長いままだと、機械からまわり故障の原因となります

● 缶などの金属を入れない
機械が破損し、故障の原因となります

● 大型(40cm以上のものは、粗大ごみとして出す
機械が破損し、故障の原因となります

清掃管理課

☎23局25508
FAX23局0180



ゴミゴミとリサイクルレンジャー